

各位

2021.1.25

【速報】

混和試験（北里大学医療衛生学部にて実施）にて錯体ナノコロイド水溶液は、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対して99.99%の抑制効果があることが1月21日に確認されました。

一般社団法人日本錯体ナノコロイド協会（東京都港区）は、当協会が独自開発した抗菌・抗ウイルス液『錯体ナノコロイド水溶液』が、昨年11月に行った一般財団法人日本繊維製品品質技術センターによる試験に引き続き、本年1月に行った混和試験においても新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対して抗ウイルス効果がある旨の試験結果を得ましたのでお知らせします。

試験概要

- (1) 試験機関 北里大学医療衛生学部
- (2) 試験ウイルス Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2)
- (3) 試験方法概略
- ・ウイルス培養時のFBS濃度を2%とした。
 - ・感染に用いた細胞は VeroE6/TMPRSS2株を使用。
 - ・ウイルス液比率は、
ウイルス液 (2×10^7 PFU/ml) : 錯体ナノコロイド = 1 : 19とした。
 - ・上記比率で混和した液体を、室温下で8時間処理した後の抗ウイルス効果について2つの方法により検証した。
- (4) 試験素材 錯体ナノコロイド水溶液
- (5) 結果
- プラーク法による抑制率 8時間後 99.99%
 - TCID₅₀法による抑制率 8時間後 99.99%